
どうしようもない話

ぐるぐる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

どうしようもない話

【Nコード】

N3455BA

【作者名】

ぐるぐる

【あらすじ】

自作の水平思考推理問題をショートショート風に直した短編シリーズ第6弾。男が同窓会に出席できない理由とは……。

「高校時代のクラスメートで同窓会をするんだけど・・・」

高町 遙からの電話を受けたのは、今から2ヶ月前のことだ。10年ぶりに聞く彼女遙の声は俺の記憶に残る彼女遙の声と変わらない。高校時代のクラスメートになんて別に会いたくもないが、彼女遙だけは別だ。そう、俺は高校時代昔、彼女のことが好きだったのだ。

おっと、誤解するなよ。昔好きだった女に会えるんだから、下心がなかったとは言わない。が、多くを期待してたわけでもないんだ。なにしろ10年もたってるんだ。彼女の苗字が結婚してが変わってたっておかしい。そう、俺は多くを望んでいたわけではないんだ。

でも1週間たち、2週間たち、同窓会の日が近づくにつれて、俺は段々怖くなってきた。いつしか「同窓会が中止になって欲しい」と願うようにさえなっていた。

しかし、現実是非情だ。同窓会まであと2週間できつたある日、再び遙から電話がかかってきた。同窓会は予定通り行われることになったらしい。

俺は同窓会の日、仕事を休むことに決めた。

で、今日がその同窓会の日ってわけだ。こうして、お前と酒を飲む羽目になるとは思わなかったがな。なに？　じゃあ、なぜ同窓会に行かないのかって？　無茶を言うなよ。無理に決まってるだろ。

誘われてない同窓会に行けるはずがないだろ。

確かに俺は遥からの電話を受けた。でも、あれは『俺の勤めるホテル』に入った会場予約の電話だ。そして、俺に同窓会の案内状が届くことはなかった。もちろん、実家にもそんな連絡はきてないぞうだ。

同窓会は中止になった。キャンセルの電話がかかってくるはず。そんな風に考えたのは、まあ、自分に言い聞かせるためのウソだな。俺はいつしか案内状よりも、予約キャンセルの電話を待つようになっていた。

高校時代の俺は、そりゃ馬鹿のことたくさんした。でも、クラスの中で、いや、遥にそんなに嫌われていたのだろうか？そもそも俺の勤め先に予約をいれたのは、果たして偶然なのだろうか？

今の俺にはそれを確かめる勇氣はないよ。

（後書き）

感想お待ちしています

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3455ba/>

どうしようもない話

2012年1月8日23時51分発行